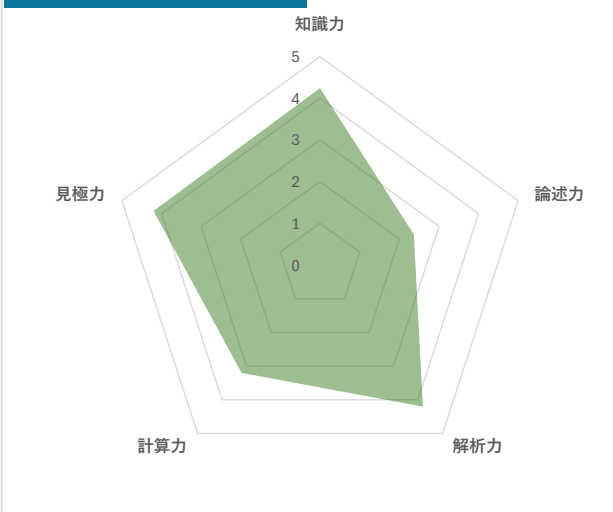


総合分析

試験区分	一般 (前期)		
制限時間	60分 (理科 2 科120分)	大問数	全 4 問

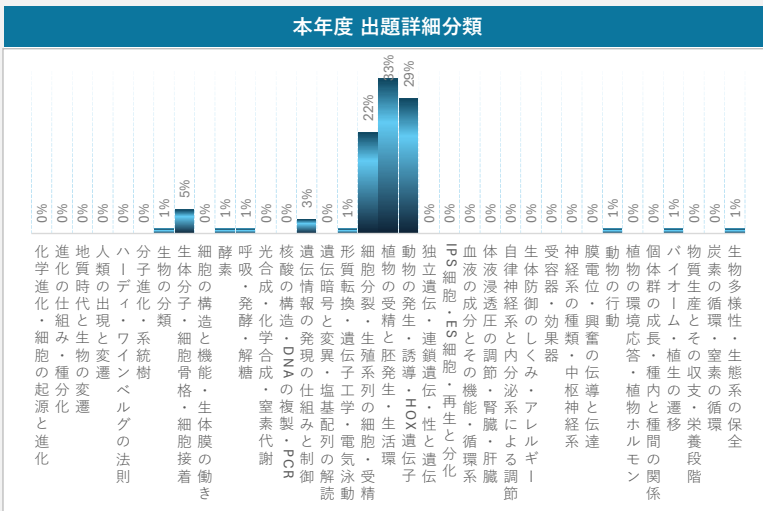
合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
系統と進化	1%
生命現象と物質	7%
遺伝子	4%
生殖と発生	84%
生物の環境応答	1%
生態	2%

本年度 解答形式	
論述	58%
選択肢	42%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	小問集合
第 2 問	ニホンナシの自家不和合成
第 3 問	形成体と誘導
第 4 問	体細胞分裂とDNAの複製



合格に要する能力 (5段階)		
知識力	4.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	2.2	設問の指定に沿って的確に記述するか
解析力	4.0	図表データなどから分析・解析するか
計算力	3.0	式を組み立て、正しく計算するか
見極力	4.0	難度を判断し、適切に時間配分するか

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述あり
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	3.4	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	57%
分量	60分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準		標準

入試の特徴と対策

▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。

入試から見る 大学が求める学生像

関西医大の最大の特徴である「正しいものをすべて選びなさい」という正誤問題は、高校生物を網羅的に学んでいるかどうかを確認しているかどうかおメッセージであろう。また、典型問題がそのままでは少なく、丸暗記ではなく現象を正しく理解しているかどうか試されているといえる。